

# ぬのめ 布目ダム 初めてのフラッシュ放流

独立行政法人<sup>すいしげんきこう</sup>水資源機構<sup>きづがわ</sup> 木津川ダム総合管理所の管理する布目ダムでは、梅雨や台風に備えて水位を下げており、この水位低下の操作を利用して、今年よりダム下流の河川環境に配慮した放流（フラッシュ放流）を実施します。

日時 平成25年5月23日（木） 午前9:30～午後2:00

フラッシュ放流は、ダムから流下させる水を一時的に増やすことと併せて、ダムの下流に仮置きしている土砂を流すことで、河川に生息する魚などの生物にとって良好な環境への改善をめざす取り組みです。

当日、ダム下流の河川では、ダムの放流により徐々に水位が上昇しますので、十分注意してください。また、当日は放流量の増加に合わせて警報（放送及びサイレン疑似音）を鳴らします。

取材又は当日の状況写真を希望される場合は、事前に問い合わせ先までご連絡をお願いします。



平成25年5月20日

独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所

## 発表記者クラブ

奈良県政記者クラブ

奈良市政記者クラブ

## 問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所

布目ダム管理所 所長 中尾（なかお）

住所：奈良県奈良市北野山町869-2

電話：0742-94-0231

# 布目ダムにおける ダム下流の河川環境に配慮した放流について

## 1. 目的

布目ダムでは本年度より、洪水貯留準備水位に向けてダムの貯水位を低下させる時期を利用して、ダム下流の河川環境に配慮したフラッシュ放流を実施します。

ダムからの放流による流水の増加と併せてダムの下流に仮置きしている土砂を流すことで、河川に生息する魚などの生物にとって良好な環境への改善をめざします。

また、フラッシュ放流に合わせて、下流河川の河床の変化や河川流量及び水の濁り等について調査し、今後のダム下流河川環境に配慮したダム管理を行うための基礎資料を収集します。

## 2. フラッシュ放流の概要

### ①現況

布目ダムでは、洪水期が始まる6月16日に向けて梅雨や台風に備えて洪水調節の容量を確保するため、洪水貯留準備水位まで、水位を低下させる予定です。

今回のフラッシュ放流は、この水位低下操作の一環として行います。

布目ダムの貯水位：5月20日9時現在で標高282.09m  
(洪水貯留準備水位 標高280.60m)

### ②実施予定日

日時：平成25年5月23日(木)9時30分～14時00分(最大放流量は2時間継続)

布目ダムからの最大放流量：毎秒約20立方メートル

放流する合計水量：約238,000立方メートル

### ③調査項目

ダム下流15地点(河川に架かる橋の上)において写真撮影を行い、フラッシュ放流前後の河床の変化を把握します。

フラッシュ放流実施時には、適宜、河床の変化及び濁りの状況を確認します。

## 3. ダム下流河川の水位の上昇予測について

今回のフラッシュ放流によって、ダム下流の布目川では、次のとおり水位が上昇することが予想されますので、注意してください。

なお、フラッシュ放流時は河川利用者の安全確保のため、河川巡視を行います。河川利用者の方には、河川から出ていただくことをお願いする場合がありますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

- ・おくがはら興ヶ原地点：最大で約80cm上昇(10時～15時頃 最大流量時間：2時間程度)

(ダム下流約6km地点)

#### 4. 警報等の実施について

フラッシュ放流当日は、ダムからの放流量を徐々に増加させるため、安全面に配慮し放流警報（放送及びサイレン疑似音を鳴らします。）を行います。

